

2025 大阪・関西万博

入退場管理システム運用マニュアル

会場全体統括施工者

大林組・大鉄工業・TSUCHIYA 共同企業体

万博PW北東JV工事事務所

【改訂履歴】

22.12.23	ドラフト版 発行
23.01.13	工区の種類、利用開始手続きの記載を追記 顔認証グリーンサイト連携現場の入場不可設定方法の修正 その他、軽微な修正
23.03.22	顔認証利用対象者を追加 利用開始手続きにおいて、現場作成者をテナント管理者に修正 その他、軽微な修正

※本運用マニュアルは、工区統括施工者および各工事の元請け事業者向け資料です。
協力会社や他利用者には、協力会社や利用者用の操作マニュアルを展開してください。

1) 本システムの目的・概要

万博敷地内で工事するにあたり、保税区域内での作業となることから、万博工事全体のセキュリティ確保が必須である。そのため、万博工事全体の工事関係者やゲストの入退場管理を行うシステムを導入する。各工区の出入口に設置された入退場ゲートは事前登録者のみが通過できるものとし、入退場者の情報、対象現場、入退場時間を本システムに記録する。故意による認証漏れなどの不正があった場合、入場禁止とする。

本システムでは、万博工事関係者の身分証やゲストの入場許可証の代わりに、手ぶらでスムーズに認証ができる顔認証を採用する。



図 1 ゲート配置



図 2 顔認証 入退場フロー



図 3 入退場管理システムの構成

2) 顔認証利用対象者

入退場システムおよび顔認証の利用対象者を以下に示す。あわせて、通勤バスの料金徴収対象者および車両管理方法をまとめているが、各詳細はそれぞれの運用マニュアルを確認すること。

表 1 顔認証利用対象者一覧

対象者		入退場		バス	車両	
		入退場システム 利用者区分	顔認証 認証場所	バス料金 徴収対象	車両許可証 (工区統括 が発行)	車両管理 システム への登録
協力会社 所属	作業員	協力会社利用者	入退場ゲート	○	-	-
	工事関係者（番頭、営業等）	協力会社利用者	入退場ゲート	○	-	-
元請会社 所属	工事事務所勤務者	元請会社利用者	入退場ゲート※2	○	-	-
	工事事務所勤務者（車両入場者）	元請会社利用者	車両ゲート	○	通行許可証	-
	工事関係者（設計監理、営業等）	ゲスト	入退場ゲート※2	※1	-	-
	見学者 ※3	ゲスト	入退場ゲート	※1	-	-
	VIP（車両入場者）	不要		-	臨時許可証	-
その他	博覧会協会関係者 ※4	ゲスト	入退場ゲート	-	-	-
	発注者	ゲスト	入退場ゲート	※1	-	-
	工事関係者（設計監理等）	ゲスト	入退場ゲート※2	※1	-	-
	見学者 ※3	ゲスト	入退場ゲート	※1	-	-
	VIP、消防検査、等（車両入場者）	不要		-	臨時許可証	-
車両 運転手	道具荷下ろし	協力会社利用者	車両ゲート	○	-	-
	ポンプ車やクレーン車オペ、斫り屋	不要		-	-	○
	工事車両（工事資材搬出入、生コン車、リース業者）	不要		-	-	○
	弁当業者、クリーニング業者	不要		-	臨時許可証	-
	運送便、便所汲み取り業者、自販機業者、燃料配送	不要		-	-	-

※1 月3日以上来場した場合、バス料金徴収対象

※2 事務所が入退場ゲート外の場合は、事務所にて認証を行う

※3 バス利用原則禁止

※4 入退場管理システムに協会専用現場を作成し、協会側で管理いただく。
現場側では入退場管理システムの対応は不要。

3) システム区分（現場の種類）

本システムの運用方法は、本システムに利用者情報等を登録して利用する「通常現場」と、グリーンサイトに登録された利用者情報を利用する「グリーンサイト連携現場」により異なる。以下に2つの現場の主な違いを示す。

表 2 システム区分（現場の種類）

	通常現場	グリーンサイト連携現場
対象現場	グリーンサイト不使用の現場を想定	グリーンサイトを労務管理に利用する現場を想定
利用者登録・変更	入退場管理システムで可能 （管理ポータル）	グリーンサイトで可能
顔登録	入退場管理システムで可能 （顔登録サイト）	入退場管理システムで可能 （顔登録サイト）
利用者ごとの入退場履歴照会	入退場管理システムで可能 （管理ポータル）	グリーンサイトで可能 ※現場全体の入退場者数は入退場管理システムで照会可能
CCUS（建設キャリアアップシステム）連携	機能なし	グリーンサイトのオプションサービスを利用することで可能

4) 権限の種類

本システムで扱う権限の種類を以下に示す。

表 3 権限一覧表

権限区分	該当者	必須	説明
テナント管理者	全体統括のシステム担当者	○	・全工区に対する管理者権限を持ち、主にシステム全体の管理、問い合わせ対応、現場の作成や終了設定、および入退場者集計等を行う。 ・全工区内を範囲とした全機能への操作権限を持つ。
工区管理者	各工区統括のシステム担当者、入退場ゲートの運用サポート員（各工区統括が用意）	○	・工区内に対する管理者権限を持ち、主に工区内元請会社からの問い合わせ対応を行う。 ・管理工区内を範囲とした全機能への操作権限を持つ。
元請会社管理者 （通常現場のみ）	各工区内で工事を行う 各元請会社のシステム担当者	※	・登録されている元請会社に対する管理者。 ・自社が割り当てられた全ての通常現場の利用者・ゲスト、および協力会社の登録・管理を行う。
現場管理者 （通常現場のみ）	各現場の現場監督	—	・割り当てられた通常現場を範囲として利用者・ゲスト、および協力会社の登録・管理を行う。 ・必要に応じて元請会社管理者が権限を割り当てる。
協力会社管理者 （通常現場のみ）	協力会社のシステム担当者や番頭	※	・登録されている協力会社に対する管理者。 ・自社が割り当てられた全ての通常現場において自社の次数以降の協力会社の登録・管理を行う。
利用者	顔認証を行う人	○	・利用者自身の顔登録のみ可能。

※通常現場のみ必須、グリーンサイト連携現場では利用しない

5) 工区の種類

- ・ 北東工区、南東工区、西工区、GW 工区、共通工区の 5 工区。
- ・ 共通工区は、全体統括が工区管理者となる。

6) 運用フロー（通常現場）

本章では、「通常現場」の運用について説明する。各作業の詳細は、操作マニュアルを参照すること。

A. 利用開始手続き

- ・ 現場の元請会社は「万博入退場・車両管理システム利用申請書」(添付 8) を各工区

統括に提出する。具体的な提出方法・提出先は、各工区統括に確認すること。

- ・ 「万博入退場・車両管理システム利用申請書」は車両管理システムへの登録申請を兼ねる。

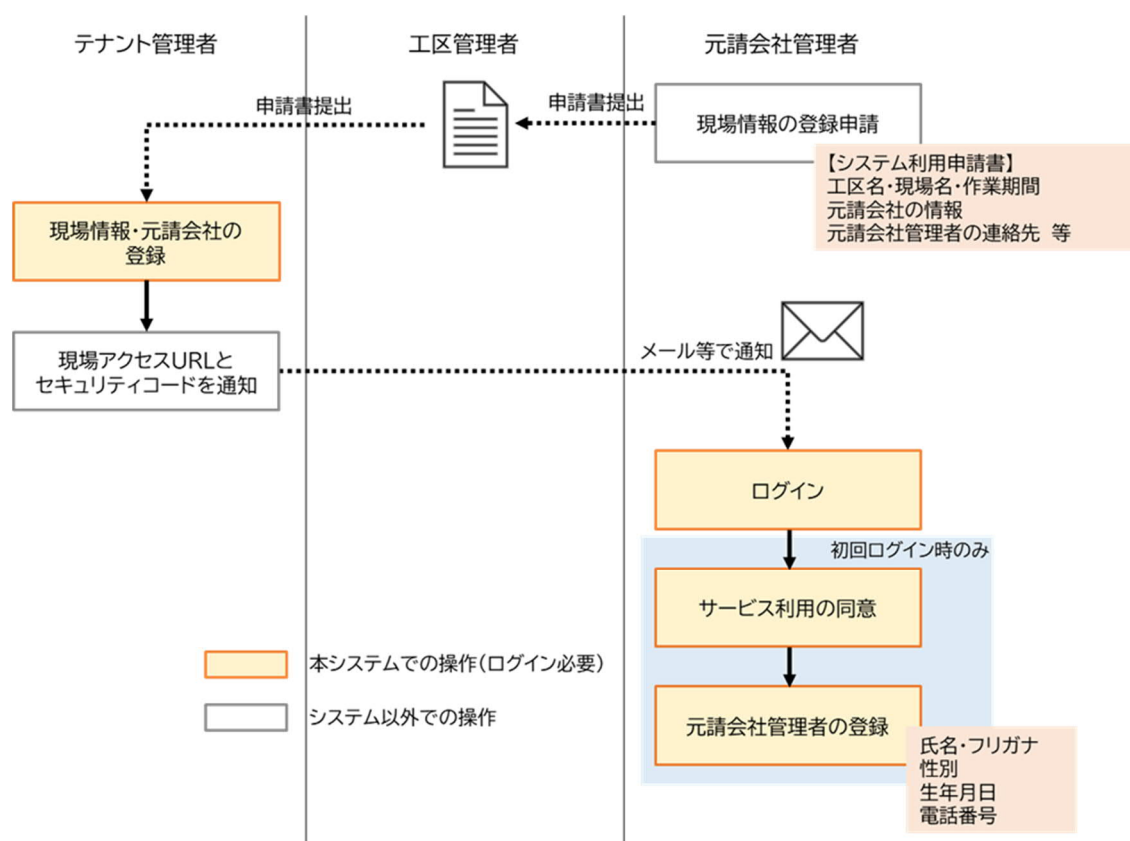


図 4 利用開始手続きフロー（通常現場）

B. 初期設定

- ・ 利用者（自社利用者、ゲスト、一人親方）の登録は、各管理者が責任をもって前日までに事前登録をすること。
- ・ 外国人の利用者を登録する場合、パスポートや在留カードなどを各管理者が確認の上登録すること。
- ・ 利用者区分は、「[表 1 顔認証利用対象者一覧](#)」を参照。

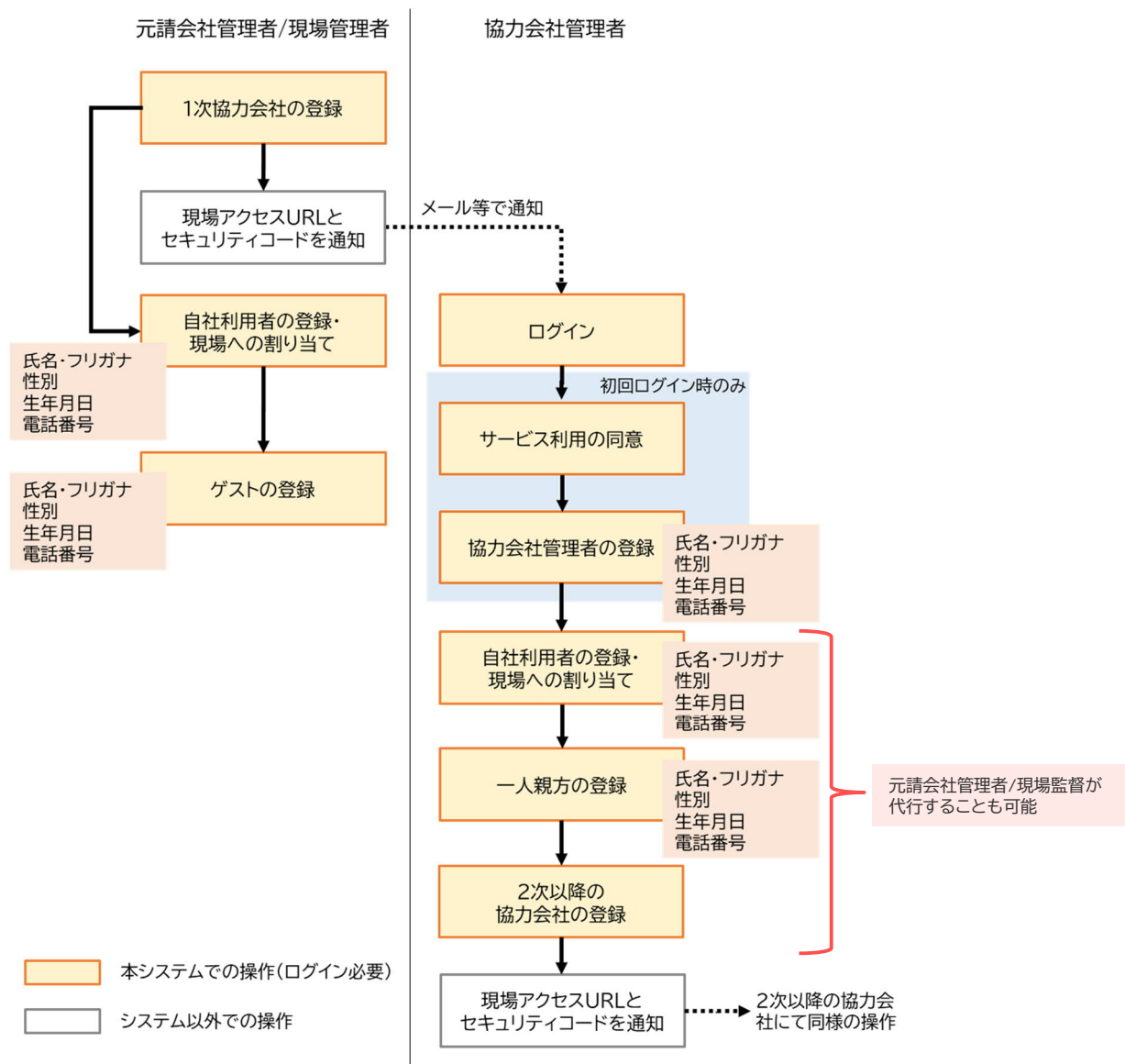


図 5 初期設定フロー（通常現場）

C. 顔登録

- 原則として、送り出し教育のタイミングなど、事前に利用者本人または元請会社管理者・現場管理者・協力会社管理者が顔写真を登録する。
- 利用者 ID は他者に共有しないこと。
- 「利用者名」は正確な氏名を入力すること。

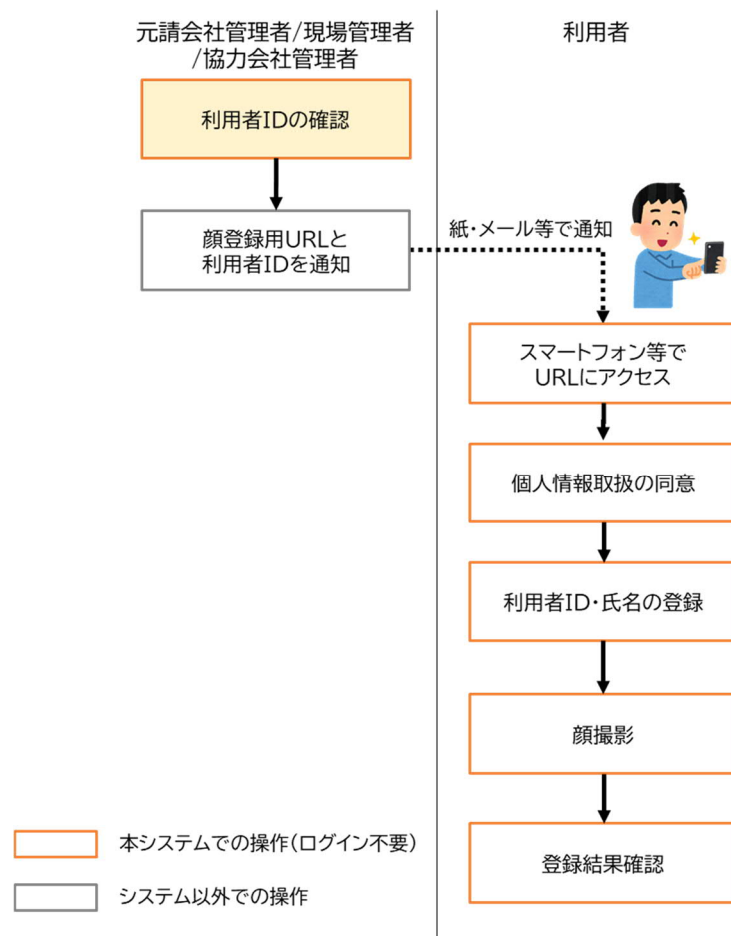


図 6 顔登録フロー（通常現場）

D. 顔認証（入場・退場）

- ・ 原則、当日入場する現場が所属する工区の顔認証装置で顔認証を行う。
- ・ 故意による認証漏れなどの不正があった場合、入場禁止とする。
- ・ 複数の現場に利用者登録されている場合、顔認証後に現場選択画面が表示されるため、当日入場する現場を選択する。
- ・ 1日のうちに複数現場に入場する場合、例えば午前中に A 現場、午後に B 現場と複数現場で作業する場合は、入退場ゲートにて最初の顔認証時に A 現場を選択し、B 現場に移動する際に再度入退場ゲートにて顔認証を行い、B 現場を選択すること。

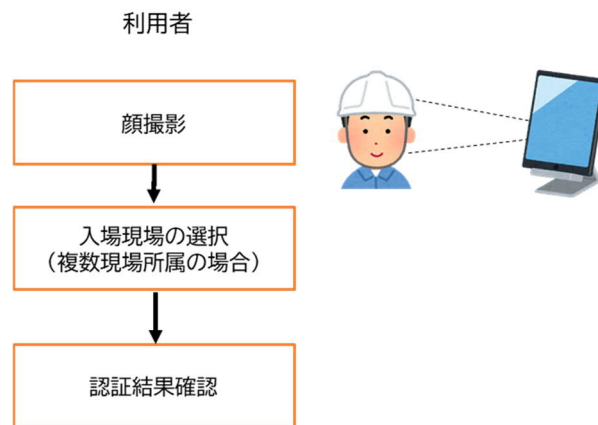


図 7 顔認証フロー

E. 後日作業

① 入退場履歴照会

- ・ 各管理者は、各権限の範囲で各現場の会社単位・利用者単位の入退場履歴を照会、CSV ダウンロードできる。
- ・ テナント管理者・工区管理者は、担当工区内の現場ごとの入場者数をグラフ表示・CSV ダウンロードできる。

② 入退場可否設定

- ・ 利用者単位、会社単位、現場単位での入退場可否設定ができる。
- ・ 各利用者の入退場が必要な期間が終了次第、元請会社管理者・現場管理者・協力会社管理者は対象利用者が入退場不可となるよう設定すること。
- ・ 現場単位で入退場システムの利用を終了する際は、元請会社から工区管理者に「万博入退場・車両管理システム利用完了届」(添付 15-13)を提出すること。

7) 運用フロー（グリーンサイト連携現場）

本章では、「グリーンサイト連携現場」の運用について説明する。各作業の詳細は、操作マニュアルおよびグリーンサイトを参照すること。

A. 利用開始手続き

- ・ 現場の元請会社は「万博入退場・車両管理システム利用申請書」（添付 8）を各工区統括に提出する。具体的な提出方法・提出先は、各工区統括に確認すること。
- ・ 「万博入退場・車両管理システム利用申請書」は車両管理システムへの登録申請を兼ねる。

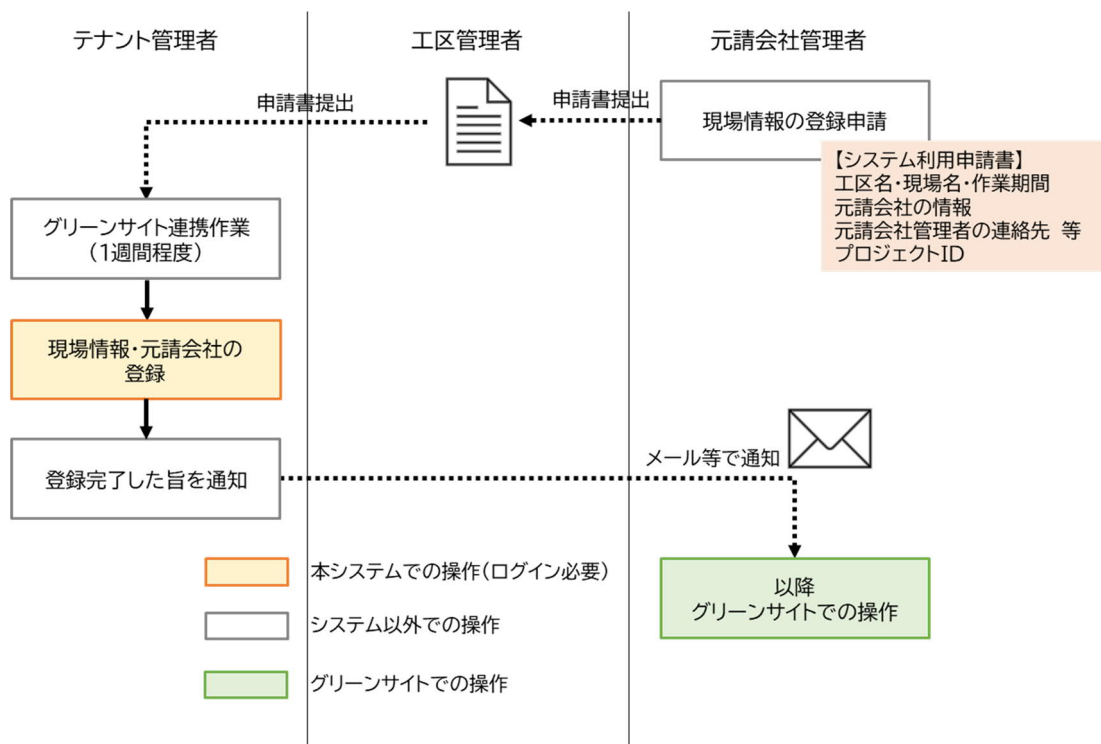


図 8 利用開始手続きフロー（グリーンサイト連携現場）

B. 初期設定

- ・ 現場の初期設定はグリーンサイト上で行う。
- ・ グリーンサイトの対象プロジェクトに登録された施工体制・作業員名簿情報・元請職員情報・ゲスト情報が本システムに利用者情報として反映される。各情報の登録方法はグリーンサイトを確認すること。
- ・ 顔認証が必要な利用者（自社利用者、ゲスト、一人親方）の登録は、各社管理者が責任をもって前日までに事前登録をすること。
- ・ 利用者の登録完了から顔登録が可能になるまで最大30分程度かかるため、余裕をもって登録すること。
- ・ 外国人の利用者を登録する場合、パスポートや在留カードなどを各社管理者が確認

の上登録すること。

- ・ 利用者区分は、「[表 1 顔認証利用対象者一覧](#)」を参照。
ただし、グリーンサイト連携現場では、利用者区分を次のとおり読み替える。
協力会社利用者→作業員、元請会社利用者→元請職員

C. 顔登録

- ・ 原則として、送り出し教育のタイミングなど、入退場前日までに利用者本人または元請管理者・現場管理者・協力会社管理者が顔写真を登録する。
- ・ QR コードは他者に共有しないこと。
- ・ 「所属会社名」「利用者名」は正確な名称・氏名を入力すること。
- ・ ゲストの情報は各プロジェクト固有のデータとなるため、他プロジェクトで同一人物をゲスト登録する場合は、別途顔登録が必要。
- ・ 他の顔認証システムですでにグリーンサイトの QR コード等を利用して顔登録をしている場合でも、本システム用に新たに顔登録が必要。

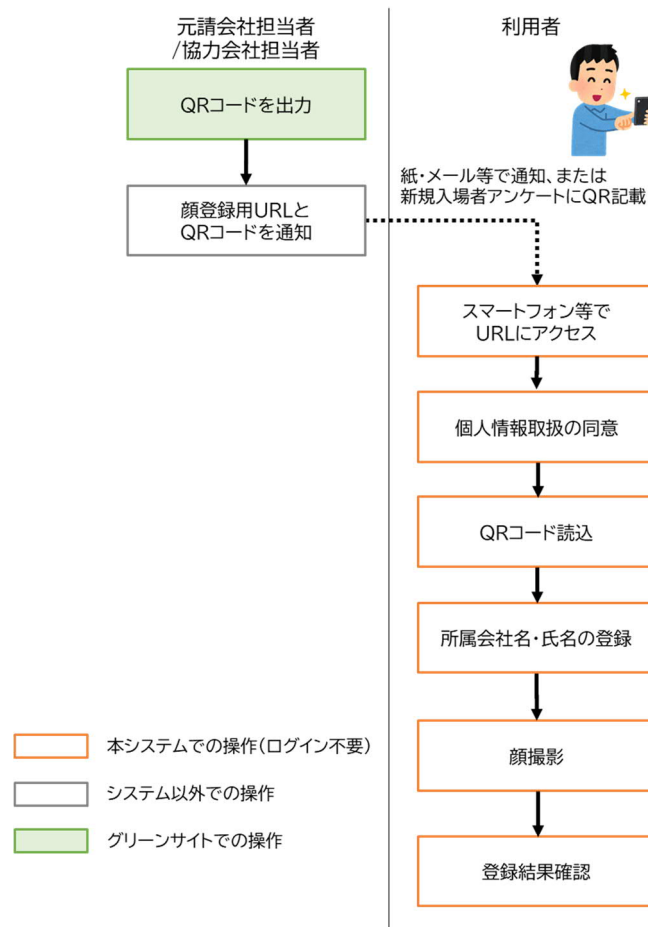


図 9 顔登録フロー（グリーンサイト連携現場）

D. 顔認証（入場・退場）

通常現場と同様のため、6) D 顔認証（入場・退場）を参照すること。

E. 後日作業

① 入退場履歴照会

- 各現場の会社単位・利用者単位の入退場履歴はグリーンサイトで確認すること。
- テナント管理者・工区管理者は、担当工区内の現場ごとの入場者数を本システムでグラフ表示・CSVダウンロードできる。

② 入退場可否設定

- ・ 入退場可否設定はグリーンサイトで行う。
- ・ 各利用者の入退場が必要な期間が終了次第、各管理者は対象利用者が入場不可となるよう設定すること。
- ・ 現場単位で入退場システムの利用を終了する際は、元請会社から工区管理者に「万博入退場・車両管理システム利用完了届」(添付 15-13)を提出すること。

8) 運用体制

A. 運用時間

- ・ 本システムの運用時間は24時間365日。ただし、定期メンテナンスによる計画停止の時間帯を除く。
- ・ 各工区入退場ゲートにおける顔認証可能時間は、各入退場ゲートの利用時間による。

B. 問い合わせ対応

- ・ 本システムおよび入退場管理に関する問い合わせ対応は、以下のとおりエスカレーション方式とする。
 - ・ 協力会社からの問い合わせ → 元請会社管理者/現場管理者
 - ・ 元請会社管理者/現場管理者からの問い合わせ → 工区管理者
 - ・ 工区管理者からの問い合わせ
 - 運用に関する問い合わせ：テナント管理者（全体統括）
 - システムに関する問い合わせ：システム会社
- ・ グリーンサイトに関する部分の問い合わせは、各管理者がグリーンサイトへ連絡するものとする。

9) その他

A. バス料金徴収のための入退場履歴の利用・対象者について

- ・ 顔認証履歴から算出された各現場の入退場者数から、通勤バスの費用負担が決定さ

れる。

- ・ 1日のうちに同一人物が複数現場に入場した場合、最初に選択された現場の入退場者としてカウントされる。
- ・ 協力会社利用者と元請会社利用者は料金徴収【対象】とする。
- ・ ゲストは、基本料金徴収【対象外】とする。ただし、月3日以上来場した場合は工事関係者とみなし【対象】とする。
- ・ 博覧会協会関係者は、【対象外】とする。※協会側で入退場システムに登録・管理が必要。
- ・ 本システムおよびグリーンサイトで参照できる入退場履歴は各現場の入退場者情報であり、バス料金徴収のための入退場履歴とは異なる。
- ・ 同一人物の判定方法として、「所属会社名」および「氏名」が一致する場合に同一人物として判定する。グリーンサイト連携現場の場合、顔登録時に入力した「所属会社名」および「氏名」を利用するため、各管理者は利用者に対して正確に入力するよう呼びかけること。通常現場の場合は、利用者情報登録時に入力した「所属会社名」および「氏名」を利用する。
- ・ バス料金徴収の詳細は「[表 1 顔認証利用対象者一覧](#)」および通勤バス駐車場運用マニュアルを参照。